

令和5年度 授業改善推進プラン

1年1組	担任氏名	佐々木 美佳
1年2組	担任氏名	東 理佳
1年3組	担任氏名	栗原 智紀
1年4組	担任氏名	高木 京子

学校経営方針(学力向上に向けて)
学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を
・必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用
・主体的で対話的な学びで学習を深化
・プログラミング教育の推進
・1単位時間の絶対確保

学年目標
○たのしく まなぼう
○げんきよく あそぼう
○みんなと なかよくしよう

★必達目標
国語(漢字):ひらがなを読むことができる。 該当学年の漢字60%以上を書くことができる。
算数(計算):10までの加減計算ができる。

研究テーマ 持続可能な社会を創造する児童の育成

教科領域

国語

授業改善による目標

- 話の聞き方を身に付ける。
- 自分の考えをもち、自信をもって話すことができる。
- 自己や他者と対話することを通して、自分の考えを広げることができる。

主な手だて

- 話の聞き方について、繰り返し指導する。
- ★音読の宿題を出し、声を出すことの習慣を付けさせる。
- 学習者用端末を利用し、発表の場や形態を工夫する。個に応じた支援をし、発表に自信がもてるようにする。
- 互いの考えを伝え合ったりグループで考えたりする活動の時間を確保する。
- ★漢字の小テストを実施し、必要に応じて再テ

算数

授業改善による目標

- 計算・測定問題を確実に解くことができる。
- 自らすすんで問題解決することができる。

主な手だて

- 具体物を用いたり、図を描いたりして、自ら問題解決ができるように指導する。
- 自力解決の時間、友達との考えと比較する時間を設け、考えが深められるようにする。
- ★繰り返し練習する時間を確保する。

生活

授業改善による目標

- 直接体験や表現活動を重視し、自分との関わりに気付かせ、よりよい生活について考える。
- 繰り返しの体験や表現・交流を通して気付きの質を高めることができる。

主な手だて

- 体験活動の時間を十分にとり、子どもたちが自ら感じ、考え、気付くようにする。
- 身近な人々との関わりを深める。また、季節に合わせた学習を通して、様々な自然と触れ合えるようにする。
- 繰り返し体験する活動を取り入れる。
- 1人1台端末を利用し、詳しく観察したり工夫してまとめたりすることができるようにする。
- 持続可能な社会構築に向けて、本気で取り組んでいる個人やグループ、企業と出会う。

音楽

授業改善による目標

- 様々な音楽活動を通して、表現や鑑賞を楽しめる。

主な手だて

- 表現の基本的な技能を身に付けさせる。
- 様々な楽曲に触れることを通して、音楽表現の多様さを感じ取らせる。
- 身体を使って音を鳴らしたり、リズムを刻んだりする活動を取り入れ、拍の流れを感じ取らせる。

図画工作

授業改善による目標

- 自分の発想を生かした作品作りができる。
- 作品の特性を捉え、色の塗り方などを工夫して作品作りに取り組む。

主な手だて

- 具体物の提示や話し合いの中から自分のイメージを膨らませるようにする。
- 材料の組み合わせ方や色の塗り方を指導し、友達と作品を交流し合えるようにする。

体育

授業改善による目標

- 様々な運動につながる感覚を身に付ける。

主な手だて

- 運動遊びを楽しめるよう、用具やルールを工夫する。
- 学習のねらいを明確にし、友達の良い動きを見付けたりまねしたりできるように言葉掛けをする。
- 学習カードを活用し、自己の動きを振り返ったり、友達の良い動きを見付けたりできるようにする。

特別の教科 道徳

授業改善による目標

- 生きることを実感し、生命を大切にできる。
- 身近にいる人に温かい心で接し、親切にできる。
- みんなの役に立つ喜びを知り、よいと思うことをすすんで行うことができる。(学級活動と関連)

主な手だて

- 資料の提示の仕方や板書を工夫し、具体的な生活場面に即して、児童の思考を深められるようにする。
- ワークシートを活用し、自己を振り返りながら自分の考えを深めたり、友達と交流したりできるようにする。
- 各教科等と道徳科の指導のねらいが同じ方向であるとき、学習の時期を考慮したり、相互に関連を図ったりして指導をすすめていく。

令和5年度 授業改善推進プラン

2年 1組	担任氏名	松永 美加
2年 2組	担任氏名	菊池 真由美
2年 3組	担任氏名	野田 貴文
2年 4組	担任氏名	山崎 里奈

学校経営方針(学力向上に向けて) 学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を ・必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用 ・主体的で対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保

学年目標 ○楽しく 学習しよう ○元気に あそぼう ○みんなと たのしく すごそう

★必達目標 国語(漢字): 該当学年の漢字60%以上を書くことができる。 算数(計算): 10以上の加減計算ができる。

研究テーマ 持続可能な社会を創造する児童の育成

教科領域

国語

授業改善による目標
○先生や友達の話をしっかり聞く態度を身に付け、自分の思ったことや考えたことを相手に伝えることができる。
○自分の考えを、自信をもって発表できる。
○自らすすんで課題解決できる。
○漢字60%以上を書くことができる。

主な手だて
○話を聞くときの約束を定着させ、正しく聞くことができる。
○子ども同士で解決策を追求する小集団の対話活動を行う。
○既習内容を用いて、解決できるような課題を設定する。
★漢字学習の目標を作り、繰り返し練習する意欲をもたせる。

算数

授業改善による目標
○自らすすんで問題解決できる。
○計算や測定等を着実にできる。
○10以上の加減計算ができる。

主な手だて
○具体物を用いたり、探求的な活動をしたりするなど、場面毎に有効な手立てを行っていく。
○デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させる。
★練習問題に繰り返し取り組み、基礎基本の定着を図る。

生活

授業改善による目標
○日常生活の中で人や自然と触れ合い、体験からの気づきをこれからの生活に活かすことができる。

主な手だて
○地域の人・もの・ことを生かした単元計画を作成し、身近な人々との関わりを深めていく。
○学校探検や町探検、季節に合った学習を通して、様々なものに触れ合う機会を多く設ける。
○体験活動の時間を十分とり、子どもたちが課題に対して主体的に感じ、考え、気付くようにする。
○ICTを活用し、間接的にも地域の人やもの自然などに触れ合う機会を設ける。
○持続可能な社会構築に向けて、本気で取り組んでいる個人やグループ、企業と出会わせる。

音楽

授業改善による目標
○子ども同士の協働、教師や地域の人との対話などを通して、自分の考えをもち、見通しをもって学習活動を進めることができるようにする。

主な手だて
○授業開始時に今日の学習の流れを明示し、見通しをもって学習活動ができるようにする。
○自分の考えを広げるために、話し合いの時間や意見交換の時間を意図的に設定する。
○ゲストティーチャーなどの範唱や範奏を通して、表現の豊かさ・よさにふれ、感性を育む。

図画工作

授業改善による目標
○集中して作品づくりができる。
○自分の発想を生かした作品づくりができる。
○材料の特性を生かしたり、色の塗り方を工夫したりして作品作りができる。

主な手だて
○具体物の提示や話し合いの中から、自分のイメージを膨らませるようにする。
○材料の組み合わせや色の塗り方の工夫の指導をする。
○自分の作品のどんなところが気に入り、どんな工夫をしたのかを説明したり書いたりして友達に知らせるようにする。
○経験や既習事項を活かし表し方を工夫する。

体育

授業改善による目標
○多様な動きができるようになるために、様々な運動遊びから、体を楽しく動かす。
○順番やきまりを守って運動する態度を身に付ける。

主な手だて
○学習カードを活用して、自分のめあてをはっきりさせて運動に取り組みせるようにするとともに、振り返りを行い次の時間に生かす。
○主体的に考えたり、運動の楽しさを友達と共有したりして運動遊びができるよう、計画的に指導する。

特別の教科 道徳

授業改善による目標
○自他との関わり合いを通して、物事を多面的・多角的に捉えることができる。
○みんなの役に立つ喜びを知り、よいと思うことをすすんで行えるようにする。(学級活動と関連)

主な手だて
○自分の考えとの共通点、相違点を確認しながら交流できるようにする。
○資料の提示の仕方や板書を工夫し、具体的な生活場面に即して、子どもたちの思考を深めるようにする。

令和5年度 授業改善推進プラン

3年	1組	担任	氏名	藤波 寛子
3年	2組	担任	氏名	岡部 弘祐
3年	3組	担任	氏名	杉田 昇
3年	4組	担任	氏名	上村 悠奈

学校経営方針(学力向上に向けて) 学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を ・必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用 ・主体的に対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保

学年目標 ○すすんで学習しよう ○たくさんの友達と遊ぼう ○友達の気持ちを考えよう

★必達目標 国語(漢字): 該当学年の漢字60%以上を書くことができる。 算数(計算): かけ算九九ができる。 社会(都道府県): 東京都の中で、小平市の位置がわかる。

研究テーマ 持続可能な社会を創造する児童の育成

教科領域

国語
授業改善による目標

- 言語事項を確実に身に付ける。
- 文章の理解を通して、自分の考えをもたせ、表現できる。
- 対話を通して自分の考えを深めることができる。

主な手立て

- ★漢字テストを定期的実施し繰り返すことで理解の定着を図る。
- 音読を宿題として出し、毎日文章を声に出して読む習慣を付ける。
- 学校図書館、地域の図書館を活用し、テーマをもたせた読書活動を充実させる。
- 朝学習の言葉の時間を活用し、言語事項の指導を充実させる。
- 考えの交流の場を意図的に設定する。
- 自分の考えと友達の考えを比べ、同じところやちがうところを考えさせる。

社会
授業改善による目標

- 身近な地域や市の様子を捉え、人々の生活との関連について関心をもつ。
- 地図や資料から必要な情報を集め、調べたことや考えたことを表現する力を身に付ける。

主な手立て

- 身近な地域から市全体へと段階的に調べ、目的や着目する視点を明確にして見学をしたり、情報を集めたりさせる。
- ICT機器を活用して、必要に応じた情報を取得させる。
- ★地図を用いて市の位置を確かめたり、調べたことを白地図にまとめたり、地図を活用した学習を充実させる。
- 調べたことや考えたこと等を説明したり、まとめたりする場面を意図的に設定する。

算数
授業改善による目標

- 乗法・除法の確実な理解と習熟
- 小数・分数の確実な理解と習熟
- 一億までの数についての理解と習熟

主な手立て

- 指導者用デジタル教科書を活用し、視覚的な支援の充実を図る。
- 一人一人の習熟に応じた指導のために習熟度別指導グループを編成し、段階的に指導する。
- ★四則計算の定着を図るため、授業の開始5分間などを継続して活用する。
- 学習内容について習熟度を診断するとともに、段階に応じた学習ができるように、東京ベーシック・ドリルを活用する。
- 授業規律が身に付くように継続して指導を続ける。

理科
授業改善による目標

- 実験や観察の基本的な技能を身に付ける。
- 自然事象について主体的に考え考察することができる。

主な手立て

- 差異点や共通点を基に児童自ら問題を見だし、問題を解決できるようにする。
- 学習課題を児童の日常生活に結びつけ、体験的な活動を多く取り入れる。
- ICT機器を活用し、理解を確かにする。
- 授業の流れを明確にするノート指導を繰り返す。

体育
授業改善による目標

- 自分の課題をもって安全に気を付けて進んで運動に取り組もうとしている。
- 各運動の行い方を知り、基本となる動きのポイントを身に付けている。
- 課題を解決するために工夫したり、気付いたことを友達に伝えたりノートに書いたりしている。

主な手立て

- 児童がやりたくなるような運動との出会い方を工夫する。
- 個に応じた課題解決ができるように、指導計画や場の設定を工夫する。
- 体育ノートや学習カードを活用し、児童が自己の課題を振り返りながら学習に取り組めるようにする。

総合的な学習の時間
授業改善による目標

- 課題に興味をもち意欲的に調べる力を身に付ける。
- 資料を集めたり取材したりして、必要な情報を収集することができる。
- 学習した結果や達成した事柄をまとめ表現することができる。

主な手立て

- 児童の意欲や願い、思考の過程を大切にしながら、単元計画・授業展開を構成する。
- 「児童に発見、考えさせたい問題」を設定し、問題の出会い方を工夫する。
- プログラミング教育として、chromebookの使い方を指導することで、各教科で児童が活用できるようにする。
- 「情報の収集」、「整理分析」、「まとめ・表現」のそれぞれの段階で丁寧に指導を繰り返し、「探究的な学習」の素地をつくる。
- 持続可能な社会構築に向けて、本気で取り組んでいる個

特別の教科 道徳
授業改善による目標

- 自らの生き方を主体的に考え、自ら気付き、考えることができる。

主な手立て

- 身近に感じることができる資料の選択や資料の提示の仕方を工夫する。
- 考えること、話し合うこと、振り返ることの場を意図的に設定する。

外国語活動
授業改善による目標

- 言語や文化についての理解を深める。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手立て

- デジタル教材やALT、書籍や実物の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- ゲームやチャンツ、インタビューなどの言語活動を通して、外国語の表現に親しむことができるようにする。
- 児童が話したくなる・聞きたくなる話題・題材を設定し、主体的に学習に向かえるようにする。

令和5年度 授業改善推進プラン

4年1組	担任	氏名	角井 慎
4年2組	担任	氏名	田口 実久
4年3組	担任	氏名	仲 佑允
4年4組	担任	氏名	石戸 佳帆

学校経営方針(学力向上に向けて) 学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を ・ 必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用 ・ 主体的で対話的な学びで学習を深化 ・ プログラミング教育の推進 ・ 1単位時間の絶対確保

学年目標 ○すすんで学び合い、お互いの力を高め合おう。 ○友達の良いさを認め合い、支え合って生活しよう。 ○新しいことに自分からすすんでチャレンジしよう。

★必達目標 国語(漢字): 該当学年の漢字60%以上を書くことができる。 算数(計算): わり算の筆算ができる。 社会(都道府県): 日本の中での東京都の位置が分かり、関東地方の県名を書くことができる。

研究テーマ 持続可能な社会を創造する児童の育成

教科領域

国語

授業改善による目標

- 言葉を正しく使い、文章を書く力を身に付ける。
- 読書の質を向上させることができる。

主な手だて

- ★ 毎日漢字練習を行い、漢字テストを実施する。
- 書く活動を意図的に取り入れる。
- 学校図書館や公共図書館を有効的に活用し、目的に応じた本が主体的に読めるようにする。
- 学校で読書する時間を定期的に設け、子どもが読書を習慣づけて行えるようにする。

社会

授業改善による目標

- すすんで社会事象に関わり、自分なりの考えをもてる。
- 子ども同士、先哲の教え、教職員、地域の方々など様々な人と対話をし、自分の考えを広げる。
- 調べ方、まとめ方など社会科の学び方を身に付ける。

主な手だて

- 地域素材を生かし、調べる方法や調べる視点を明確にして、学習問題に即して、観察や調査を行えるようにする。
- 資料を読み取り、資料をもとに自分なりに考え、表現できるようにする。
- 多様な考えに触れさせ、見解を広げさせる。
- 様々なまとめ方を経験させる。
- ★ 地図を用いて東京都の位置や関東地方について確かめたり、調べたことを白地図にまとめたり、地図を活用した学習を充実させる。

算数

授業改善による目標

- 乗法の確実な理解と習熟。
- 除数が2けたの除法の確実な理解と習熟。
- 小数のしくみの確実な理解
- 小数・分数の加法減法の確実な理解と習熟。

主な手だて

- 一人一人の習熟に応じた指導のために習熟度別指導グループを編成し、段階的に指導する。
- 指導者用デジタル教科書を活用し、視覚的な支援の充実を図る。
- ★ 四則計算の定着を図るため、授業の開始5分間などを活用し、継続して指導を続ける。
- 学習内容について習熟度を診断するとともに、段階に応じた指導ができるように、東京ベーシック・ドリルを活用する。

総合的な学習の時間

授業改善による目標

- 学習課題の中から、自ら課題設定ができる力を身に付ける。
- 課題に合わせて調べる力を身に付ける。
- 適切な表現の仕方を身に付ける。

主な手だて

- 地域の教材や人材を活用し、効果的に交流活動・体験学習を行う。
- 「児童に発見、考えさせたい問題」を設定し、問題の出会い方を工夫する。
- 様々なまとめ方を経験させる。
- プログラミング教育として、chromebookの使い方を指導することで、各教科で児童が活用できるようにする。

理科

授業改善による目標

- 実験を行う技能や正確に観察する力を身に付ける。
- 根拠をもって結果を予想したり、結果から考察したりする力を身に付ける。

主な手だて

- 観点を明確化し、変化を具体的に見取るように指導する。
- 根拠をもたせるために、予想を立てる際に既習事項を振り返らせる。
- 結果を確かめ考察する方法を定着させるために、板書やワークシートを工夫する。

体育

授業改善による目標

- 友達と関わり合い、認め合いながら、めあてをもって安全に運動に取り組む態度を養う。
- 各運動の特性を理解し、基本となる動きを身に付ける。
- 個に応じた課題設定を行い、目標をもって運動に取り組むことができる。

主な手だて

- 場の設定や活動内容を工夫し、児童が関わらう機会を積極的に設ける。
- 個に応じた課題設定ができるよう、指導計画や活動内容を工夫する。

特別の教科 道徳

授業改善による目標

- 主体的な学びを促し、授業での学びを他教科や生活にいかす。

主な手だて

- 自分だったらどうするか、何ができるかを考えさせる問いを含む教材や、道徳的問題の解決を考える場面を設定する。
- 教材や学習形態を工夫する。(学習指導過程、役割演技・動作化、資料提示、話し合い、座席配置、補助資料 協力的指導 人材活用など)

外国語活動

授業改善による目標

- 言語や文化についての理解を深める。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手だて

- デジタル教材やALT、書籍や実物の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- ゲームやチャンツ、インタビューなどの言語活動を通して、外国語の表現に親しむことができるようにする。
- 児童が話したくなる・聞きたくなる話題・題材を設定し、主体的に学習に向かえるようにする。

外国語活動

授業改善による目標

- 言語や文化についての理解を深める。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手だて

- デジタル教材やALT、書籍や実物の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- ゲームやチャンツ、インタビューなどの言語活動を通して、外国語の表現に親しむことができるようにする。
- 児童が話したくなる・聞きたくなる話題・題材を設定し、主体的に学習に向かえるようにする。

令和5年度 授業改善推進プラン

学校経営方針(学力向上に向けて)
学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を ・ 必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用 ・ 主体的で対話的な学びで学習を深化 ・ プログラミング教育の推進 ・ 1 単位時間の絶対確保

学年目標
○課題をもって学習しよう ○すすんで心や体をきたえよう ○自分も友達も大切にして助け合おう

5年	1組	氏名	栗子 綾
5年	2組	氏名	松浦 大地
5年	3組	氏名	中村 紀代子
5年	4組	氏名	前田 昌彦

★必達目標 国語(漢字): 該当学年の漢字60%以上を書くことができる。 算数(計算): 小数の計算ができる。 社会(都道府県): 都道府県の位置が分かる。

研究テーマ 持続可能な社会を創造する児童の育成

教科領域

国語
授業改善による目標
 ○ 叙述を基に心情や情景を読み取ったり、自分の経験を関係付けたりする力を身に付ける。
 ○ 言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ深める。
 ○ 友達と意見を交流し、考えを比較することで学びを深める。
★5年の漢字を60%以上書くことができる。

主な手だて
 ○ 文章の叙述を根拠に自分の考えを持たせ、叙述に基づいた読み取りを行う活動をくり返し行う。
 ○ 学習者用端末やデジタル教科書を活用し、内容理解や自分の考えの形成、発表の形態を工夫する。
 ○ 友達と考えを交流させ、いろいろな考え方を踏まえながら個々の考えを構築する場を多くもたせる。
★漢字練習プリントを計画的に行う。

社会
授業改善による目標
 ○ 国土や産業の様子、産業と国民生活との関連について関心をもつ。
 ○ 資料を正確に読み取る力を身に付ける。
 ○ 資料を活用して、社会的現象について考えたり、調べたりして考えを深める。
★都道府県の位置が分かる。

主な手だて
 ○ グラフなどの基礎的な資料を正確に読み取らせ、気付いたことや疑問、自分の考えを表現する学習を設定する。
★デジタル教材を活用したり、プリントで確認したりする。

算数
授業改善による目標
 ○ 割合についての学習内容の理解と習熟
★小数の乗法・除法についての理解と習熟
 ○ 面積や体積の求積についての理解と習熟

主な手だて
 ○ デジタル教科書を活用し、視覚的な支援の充実を図る。
 ○ 習熟度別グループを編成し、一人一人の学習段階に応じた指導ができるようにする。
 ○ 数直線を活用し、視覚的に課題を解決できるように継続して指導する。
★授業開始時に5分間計算の習熟をする。

理科
授業改善による目標
 ○ 学習課題に対する予想をさせ、筋道を立てて考えることができる。
 ○ 何のための実験なのかを理解することができる。
 ○ 器具の適切な使い方を理解することができる。

主な手だて
 ○ 根拠をともなった予想を個々に書かせる。
 ○ 仮説を検証するためにどのような実験をすればよいか、また実験の条件制御についてノートに書く活動を行う。
 ○ 考察の型を決め、実験を振り返り、まとめることができるようにする。

特別の教科 道徳
授業改善による目標
 ○ 物事を一面的に捉えるのではなく、子ども自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解できる。
 ○ 道徳的価値を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすることができる。

主な手だて
 ○ 自己を見つめる時間を十分にとり、多様な考え方や感じ方が引き出せるように発問を工夫する。
 ○ その他指導法を工夫する。(学習指導過程、役割演技・動作化、資料提示、話し合い、座席配置、補助資料 ワークシートの活用 協力的指導 人材活用など)

体育
授業改善による目標
 ○ 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止などについて理解する。
 ○ 各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付ける。

主な手だて
 ○ 課題やめあてを明確にし、友達と教え合ったり、活動を振り返ったりする場を意図的に設定する。
 ○ 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付けられるような学習カードの工夫を行う。

総合的な学習の時間
授業改善による目標
 ○ 思いや願いをもつとともにその実現に向けて、教科などで身に付けた知識や技能を相互に関連付け、主体的に学習課題を解決していく力を身に付ける。
 ○ 学習した結果や達成した事柄をまとめ表現することができる。

主な手だて
 ○ 「児童に発見、考えさせたい問題」を設定し、問題の出会い方を工夫する。
 ○ 必要な知識、資料の読み取り方について、各教科で身に付けた力と関連させて学習を進めていく。
 ○ 情報発信力・表現力を養う場を設定する。
 ○ プログラミング教育として、chromebookの使い方を指導することで、各教科で児童が活用できるようにする。

外国語
授業改善による目標
 ○ 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
 ○ コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
 ○ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。

主な手だて
 ○ デジタル教材・ALT・書籍などの活用を通して、異文化に触れ、理解を深められるようにする。
 ○ チャンツ・ゲーム・インタビュアーなどの言語活動を積極的に取り入れる。
 ○ 相手意識をもって、自分の考えや気持ちを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。
 ○ 異文化理解の要素を取り入れながら、児童が主体的に開きたくなる・話したくなる題材・話題を設定する。

家庭科
授業改善による目標
 ○ 経験や既習事項を活かしながら、家庭生活を工夫しようとする。

主な手だて
 ○ 調理や裁縫の基礎を身に付けられるよう、デジタル教科書や映像教材、実物投影機などの視聴覚機器を効果的に使い、わかりやすい指導を目指す。

令和5年度 授業改善推進プラン

6年 1組	担任氏名	高橋 七緒
6年 2組	担任氏名	武山 真治
6年 3組	担任氏名	堀 裕樹

学校経営方針(学力向上に向けて) 学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を ・必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用 ・主体的で対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保

学年目標 ○自ら課題をたてて学習を深めよう ○すすんで心や体をきたえ、いろいろなことに挑戦しよう ○自分も友達も大切にし共に成長しよう

★必達目標 国語(漢字): 該当学年の漢字60%以上を書くことができる。 算数(計算): 分数の計算ができる。

研究テーマ

持続可能な社会を創造する児童の育成

教科領域

国語

授業改善による目標

- 叙述を基に心情や情景を読み取ったり、自分の経験を関係付けたりする力を身に付ける。
- 友達と自分の考えを比較し差異点や同一点などを整理しながら聞き、自分の考えを深めることができる。

主な手だて

- 文章の構成を捉えたり、自分の考えの根拠となる言葉を叙述から見つけたりする活動をくり返し行う。
- 友達と考えを交流させ、いろいろな考え方を踏まえながら、個々の考えを構築する場を多く設定する。

★漢字練習プリントに計画的に取り組む。

理科

授業改善による目標

- 自然の事物・現象について、見いだした問題について追究し、よりよい考えをつくりだすことができる。

主な手だて

- 児童の生活に即した事象提示を心がけ、疑問や気付きをもたせて問題を見いだせるよう具体物や資料を効果的に提示する。
- 既習事項との関連を意識し、これまでの学習との結び付きを系統立ててとらえられるようにする。
- よりよい考えをつくりだせるよう、実験結果から分かったことや考えたことを話し合う活動を意図的に取り入れる。

総合的な学習の時間

授業改善による目標

- 児童が思いや願いをもち、主体的に学習課題を解決していく力を身に付ける。
- 現状に満足せず、身の回りの生活や学習をよりよくしていこうとする意識を常にもたせる。
- 学習した結果や達成した事柄を的確にまとめ、相手にわかりやすく端的に表現することができる。

主な手だて

- 「児童が発見、考えさせたい問題」を設定し、問題の出会い方を工夫する。
- 「課題発見→情報収集→整理分析→まとめ発表」の流れを意識し、児童の思考がスパイラル状になり、高まっていくよう意図的に学習計画を立てる。
- 思考ツールを効果的に活用する。また、課題に合わせて自分に合った思考ツールを選択して考えをより深めらるよう、意図的に様々なツールを取り上げる。
- 具体性のある活動にしていくことで、現状をもっとよくできないか常に考えさせ、自分たちができることを改めて考えさせる。
- 持続可能な社会構築に向けて、本気で取り組んでいる個人やグループ、企業と出会う。
- Chromebookの扱い方を指導し、プログラミング的思

社会

授業改善による目標

- 歴史や社会的事象に興味や疑問をもち、予想を立てて調べたことや考えたことを表現する力を身に付ける。

主な手だて

- 教科書や資料集から読み取ったことを話し合う場面を設定する。
- 情報を整理・分析し、自分の考えを表現する学習活動を意図的に設定する。
- 毎時間の授業の振り返りを大切にし、思考の流れに目を向けさせる。

★プリントやICTを活用して都道府県名についての習熟をする。

体育

授業改善による目標

- 各種の運動の特性を味わい、基本的な技能を身に付ける。

主な手だて

- 運動のねらいが明らかになるような学習過程の工夫を行う。
- 友達とのかかわりの中で技能の追究ができるよう、場の工夫と学習形態の工夫をしていく。

特別の教科 道徳

授業改善による目標

- 自ら道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解できる。
- 道徳的価値を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすることができる。

主な手だて

- 自己を見つめる時間を十分にとり、多様な考え方や感じ方が引き出せるように発問を工夫する。
- 教材や学習形態を工夫する。(学習指導過程、役割演技・動作化、資料提示、話し合い、座席配置、補助資料、道徳ノートの活用、協力的指導、人材活用など)

家庭科

授業改善による目標

- 自分の生活を見つめ、家庭生活を工夫していこうとすることができる。

主な手だて

- 学習したことを実践し、生活に生かす過程を重視する。
- デジタル教科書や映像教材、実物投影機などの視聴覚機器を効果的に使い、わかりやすい指導を目指す。

算数

授業改善による目標

- 分数の乗法・除法についての確実な理解と習熟
- 割合の考え方の理解・比の表し方の理解と習熟
- 円の面積の求積についての理解と習熟
- データの調べ方についての理解と習熟

主な手だて

- 授業者用デジタル教科書とともに児童用デジタル教科書を効果的に活用し、視覚的な支援を充実させるとともに、個々の学習状況に応じた学習ができるように継続して支援する。
- 習熟度別グループを編成し、一人一人の学習段階に応じた指導ができるように工夫する。
- 授業規律が守れるように、継続して指導する。

★東京バージョンドリルを活用し、特に四則計算の理解と習熟を図る。

外国語

授業改善による目標

- 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。

主な手だて

- デジタル教材・ALT・書籍などの活用を通して、異文化に触れ、理解を深められるようにする。
- チャンツ・ゲーム・インタビューなどの言語活動を積極的に取り入れる。
- 相手意識をもって、自分の考えや気持ちを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。
- 異文化理解の要素を取り入れながら、児童が主体的に聞きたくなる・話したくなる題材・話題を設定する。

令和5年度 授業改善推進プラン

教科 外国語活動・外国語科（5年、6年）担当氏名 田淵 文恵

学校経営方針(学力向上に向けて)	専科目標
学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を ・必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用 ・主体的で対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保	○外国語の音声や表現に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な力を養う。 ○主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ○外国語の背景にある文化に対する「理解を深める」。

研究テーマ 持続可能な社会を創造する児童の育成

総合的な学習の時間での、持続可能な社会の担い手を育成するための追及活動を教科横断的な視点で計画していく。

3年

授業改善による目標

- 言語や文化についての理解を深める。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手だて

- デジタル教材やALT、書籍や実物の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- ゲームやチャンツ、インタビューなどの言語活動を通して、外国語の表現に親しむことができるようにする。
- 児童が話したくなる・聞きたくなる話題・題材を設定し、主体的に学習に向かえるようにする。

4年

授業改善による目標

- 言語や文化についての理解を深める。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手だて

- デジタル教材やALT、書籍や実物の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- ゲームやチャンツ、インタビューなどの言語活動を通して、外国語の表現に親しむことができるようにする。
- 児童が話したくなる・聞きたくなる話題・題材を設定し、主体的に学習にむかえるようにする。

5年

授業改善による目標

- 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

主な手だて

- デジタル教材・ALT・書籍などの活用を通して、異文化に触れ、理解を深められるようにする。
- チャンツ・ゲーム・インタビューなどの言語活動を積極的に取り入れる。
- 相手意識をもって、自分の考えや気持ちを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。
- 異文化理解の要素を取り入れながら、児童が主体的に聞きたくなる・話したくなる題材・話題を設定する。

6年

授業改善による目標

- 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

主な手だて

- デジタル教材・ALT・書籍などの活用を通して、異文化に触れ、理解を深められるようにする。
- チャンツ・ゲーム・インタビューなどの言語活動を積極的に取り入れる。
- 相手意識をもって、自分の考えや気持ちを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。
- 異文化理解の要素を取り入れながら、児童が主体的に聞きたくなる・話したくなる題材・話題を設定する。

学校経営方針(学力向上に向けて)
学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を ・必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用 ・主体的で対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保

専科目標
○すすんで造形的な活動や鑑賞に取り組む。 ○感性や想像力を働かせて、活動や作品を作り出す。 ○自分のイメージに合わせて表現方法を工夫する。

研究テーマ

持続可能な社会を創造する児童の育成

総合的な学習の時間での、持続可能な社会の担い手を育成するための追及活動を教科横断的な視点で計画していく。

3年

授業改善による目標

○新しい道具の使い方や表現方法を学ぶと共に様々な材料に触れ感じたことや考えたことを自分らしく表現する。

主な手だて

- 図工室でのルール(道具の扱い、話の聞き方、片付け)を何度も伝え、学習規律をみんなで守っていく態度を育てていく。
- 色々な道具・材料に触れ、造形感覚の基礎・基本を身に付けることができるよう年間計画を立てる。
- 製作途中や作品完成後に鑑賞の授業をもち、友だちの作品のよさに共感したり、伝え合ったりする時間をもつようにする。

4年

授業改善による目標

○新しい道具の正しい使い方を学ぶと共に様々な材料に触れ感じたことや考えたことを工夫して自分らしく表現する。

主な手だて

- 図工室でのルール(道具の扱い、話の聞き方、片付け)を何度も伝え、学習規律をみんなで守っていく態度を育てていく。
- 色々な道具・材料に触れ、造形感覚の基礎・基本を身に付けることができるよう年間計画を立てる。
- 製作途中や作品完成後に鑑賞の授業をもち、友だちの作品のよさに共感したり、伝え合ったりする時間をもつようにする。

5年

授業改善による目標

○これまでに学んできた道具や材料の経験を生かして、自分のイメージする表現になるよう創意工夫して表す。

主な手だて

- 道具の扱いや技法などを個別に指導する。製作過程を大切に支援を行う。
- これまでの経験を発展させて活動できるよう題材を工夫するとともに一人一人の思いにあった指導ができるよう準備をしていく。
- 鑑賞の授業を多くもち、豊かな感性を磨いていけるよう取り組んでいく。

6年

授業改善による目標

○これまでに学んできた道具や材料の経験を生かし、自分の感性を大切に創意工夫のある造形活動を行う。

主な手だて

- 道具の扱いや技法などの個別指導。製作過程を大切に支援。
- これまでの経験を発展させて活動できるよう題材を工夫するとともに一人一人の思いにあった指導ができるよう準備をしていく。
- 鑑賞の授業を多くもち、豊かな感性を磨いていけるよう様々な芸術作品との出会いの場を作っていく。適切なワークシートの活用、児童同士での意見交換等を行う。

学校経営方針(学力向上に向けて)	専科目標
学ぶことが楽しい、できることが嬉しい日々を ・必達目標の実施と達成、授業チェックシートの活用 ・主体的で対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保	○音楽的な見方・考え方を身に付け、音楽表現のための技能を身に付ける。 ○音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 ○音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養う。

研究テーマ

持続可能な社会を創造する児童の育成

総合的な学習の時間での、持続可能な社会の担い手を育成するための追及活動を教科横断的な視点で計画していく。

2年
授業改善による目標
 ○子ども同士の協働、教師や地域の人との対話などを通して、自分の考えをもち、見通しをもって学習活動を進めることができるようにする。

主な手だて
 ○授業開始時に今日の学習の流れを明示し、見通しをもって学習活動ができるようにする。
 ○自分の考えを広げるために、話し合いの時間や意見交換の時間を意図的に設定する。
 ○ゲストティーチャーなどの範唱や範奏を通して、表現の豊かさ・よさにふれ、感性を育む。

3年
授業改善による目標
 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。

主な手だて
 ○表現
 ・個別指導や反復練習等を通して、基本的な奏法や技能を身に付けるようにする。
 ・思うように演奏できない児童や苦手意識のある児童には、スモールステップを意識した指導や簡略化した課題を通じて、自信を持って演奏できるようにする。
 ○鑑賞
 ・楽曲の良さを自ら見付け、楽曲全体を楽しみながら聴くことができるようにする。

4年
授業改善による目標
 ○音楽表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。

主な手だて
 ○表現
 ・ワークシートの工夫により、思いや意図が音楽になる過程を感じ取れるようにする。
 ・様々な楽器を使い、それぞれの楽器の音色や音色が重なる楽しさを感じ取れるようにする。
 ○鑑賞
 ・楽曲や演奏の良さを見付け、曲想の変化と音楽の構造との関わりに気付いて聴くことができるようにする。

5年
授業改善による目標
 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするための技能を身に付ける。

主な手だて
 ○表現
 ・曲想を生かした表現の仕方を工夫することができるようにする。また友達と協働して音楽を作り上げる力を育てる。
 ・音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きに気を付けながら工夫して演奏することができるようにする。
 ○鑑賞
 ・楽曲についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができるようにする。

6年
授業改善による目標
 ○主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとすることができる。

主な手だて
 ○表現
 ・学び合いの時間をつくり、友達と協働して課題解決をする力、共に音楽を作り上げる活動を通して心を育てる。
 ・自分の思いや意図を表現するための手だてを身に付けるようにする。
 ○鑑賞
 ・楽曲の曲想の変化と、音楽の構造との関わりについて理解しながら聴くことができるようにする。